

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
HOUSE 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	shu_hei/OHISHI/KAZZ/Takky			実務 経験	有	職種	プロダンサー				
担当教員紹介											
<p>【KAZZ】 22歳で単身NYCへ。本場でストリートだけでなく、ダンスの本質を学ぶ。帰国後は自らshowをする傍ら、アーティストのサポートなども行い、メジャーからアンダーグラウンドまでマルチに活躍している。TRF、May J、Jazztronikのバックアップダンサーとして活躍。現在活動中のパフォーマンスグループ「enra」では、カンヌ国際映画祭や、IOC晩餐会など、世界25カ国でパフォーマンスや公演を行っている。</p> <p>【Takky】 HOUSEをベースに、FOOTWORKを取り入れたニュースタイルと、アクロバティックなフロアを生かした動き、オリジナルかつテクニカルな誰にも真似できないパフォーマンスを華麗に魅せる。またDJ、Track makerとしても才能を発揮している</p>											
授業概要											
<p>この科目ではストリートダンスを修得するうえで必要なストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解して作品を作る事を目的とします。正確なリズムキープでのステップ、ダイナミックな表現とアクロバティックな動きを併せ、スピーディーなダンスを踊れるようになります。ダンスバトルやコンテスト等のストリートシーンでの活躍を目指すダンサーの資質を育てます。</p>											
到達目標											
<p>講義を通じて就職活動、オーディション合格に必要な自己PR術を習得する。正しい履歴書の作成方法を学ぶ。社会人として必要な積極性や協調性を講義内のディスカッションや課題研究を通して学ぶ。</p>											
授業方法											
<p>ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 30% 試験と課題を総合的に評価する レポート 40% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 20% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する</p>											
履修上の注意											
<p>前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>適時レジュメ・資料を配布する</p>											
回数	授業計画										
第1回	KAZZ先生の基礎的なステップ②を習得する										
第2回	KAZZ先生の基礎的なステップ③を習得する										
第3回	KAZZ先生のコンビネーション①を理解する										
第4回	習得した基礎ステップの復習と確認を行い、複数のステップを連続してできるようになる										
第5回	正確なリズムキープの中でステップを踏めるようになる										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
HOUSE 2	
第6回	音楽の速度を徐々に上げていき、早いリズムの中でも連続したステップが出来るようになる
第7回	ステップの組み合わせを変え、色々なバリエーションで連続したステップが出来るようになる
第8回	上半身のムーブメントを意識しつつ、音楽に合わせてステップを踏めるようになる
第9回	リズムの中で緩急をつけ、ステップと組み合わせてコンビネーションを踊れるようになる
第10回	フロアを利用したアクロパティックな技を習得する
第11回	ステップからアクロバットへの一連の流れを反復練習する
第12回	リズムの緩急と上半身のムーブメントを意識し、アクロバットを含めた振付を実践する
第13回	実習班ごとに公演用の振付を習得する
第14回	実習班ごとに公演用の振付を習得する
第15回	実践演習で得た技術・作品を発表する